

# 祝・第二新生園 30 周年



利用者さん有志のオープニング

しんせい

第23号

## 第二新生園 30 周年記念式典が盛岡グランドホテルで行われました。



お世話になった方々へ感謝状贈呈

発行元 社会福祉法人 新生会  
〒028-1362  
岩手県紫波郡矢巾町大字室岡二二二八―一  
TEL (019) 621-0241  
FAX (019) 621-0252

# 理事長挨拶



明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成三十一年を迎え、ご挨拶を申し上げます。

新生会は、昭和五十八年三月に設立され、新生園を開設して以来、今年で三十六年目を迎えました。これもひとえに利用者様をはじめ、関係各位のお力添えがあつてのことと 생각합니다。皆様方に心より感謝申し上げます。

幸いなことに新生会は、安定した経営を行うことができております。しかしながら、これに慢心することなく、山積する諸課

題に対処するため引き続き、福祉サービスの質の向上はもちろんのこと、福祉人材の確保・育成、研修制度の一層の充実、ICTの導入・活用等、に努めて参りたいと存じます。

また、社会福祉法人の役割として、広報および地域における公益的活動の重要性が増してきております。

新生会でもこれらの活動は行っておりますが、基本方針の一つに「地域生活支援の活動強化」を掲げておりますので、本年は、このことにこれまで以上に注力をして参りたいと考えております。

結びとなりますが、本年も皆様にとつて実りの多き一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



# エコレストランあいののバイキング

平成三十年十二月二十三日、二十四日の二日間、『エコレストランあいのの』にて、初めての試みとなるバイキング形式での営業をおこないました。

千二百円で、ピザとパスタはオーダー制、ジュース・総菜・デザートが飲食し放題になるシステムです。

格安ですが、材料は、国産・県産を基本とし、ピザは石窯で焼く本格派で、食べ応えもなかなかです。

初日は、開店前に行列ができ、二日目は、昼頃に客足が多く、盛況な二日間でした。

今年七月には開店十周年を迎えることとなり、記念イベントを企画しています。通常営業もしておりますので、ぜひご来店下さい。



営業時間 11:00~16:30 火曜定休  
住所 岩手県紫波郡矢巾町間野々 12-50 (国道4号沿い)  
電話 (019) 681-0304



メニューの一例



# 働く職員の声、聞いてみよう!



新生会で働く職員さんは、どんな思いをもって働いているのかなあ? ●▽● (新生会マスコット: せいちゃん)

いきなりですが、新生会のホームページをご覧になったことはありますか? 数年前にリニューアルを行いました。実はそこから着々と内容の充実を図っているんです。そして昨年には、求職者向けスペシャルページ『そう来たか、新生会』を公開! 新生会で働く職種や勤務スケジュール、給料や福利厚生について、ありのままの情報をお伝えするページとなっております。その中でも特に力を注いだページが『職員インタビュー』です。新生会で働く職員に様々な質問を行い、生の声を広く皆様に知っていただこうと企画したこのページ、就職をお考えの方、必見でございます。さらには福祉サービス利用をお考えの方やそのご家族も、働く職員の姿勢や思いが気になりませんか? そんな時も『そう来たか、新生会』をご覧ください!

今までにない、新しいことに挑戦する一つとして、ホームページの充実が欠かせません。これからは新たな取り組みをお知らせしますので、新生会のホームページは見逃しませんよ! ご意見・ご感想もお待ちしております。

## 生活支援員とは?

利用者の身の回りの支援や、生活の質の向上に向けたお手伝いを行う職員です。

福祉、介護の分野で活動する職員は、利用者様と関わりながら、生活の質の向上に向けたお手伝いを行います。



また、福祉施設や介護施設「あすは」は、利用者様と関わりながら、生活の質の向上に向けたお手伝いを行います。

障がいのある方の生活を手助けするトータルサポーターです!

## 働く職員の声



小山拓郎 / 主任書記  
平成15年度採用  
現在は法人本部勤務

★普段の仕事内容は?  
新生会の人材育成担当であり、法人内で行われる研修の企画・実施を人材育成委員のメンバーと共にしています。その他、新卒者への研修案内や広報誌の発行、職員間行事の企画・実施など多様な仕事をしています。

★働く上で大切にしていることは?  
福祉の仕事は、チームプレイでなされるものであり、人の力でなされるものではありません。だからこそ良い仕上がりがあると考えるためには、情報を集め、得られた情報を活かすだけでなく、広く意見交換すること、お互いを支え、助け合っていくことが大切です。

★感じたエピソードは?  
このアンケートで、多数の意見や高い評価が寄せられた。一人で行うものでも、委員会のメンバーだけで行うものでもあり、『法人の質の向上』に関心をもち取り組むのです。少しずつ法政に力をつけていくべきであり、そこにはやりがいを感じています。

★新生会の魅力は?  
端的に言えば、職員を大事にしている法人だと思います。新生会を辞めた後、何年かして戻ってくる人がいるのがよい証拠です。諸手当や福利厚生が充実している他、上司や同僚と気軽に意見を言い合える環境もあります。また、全職員対象にストレスチェックを実施する他、希望者への臨床心理士によるカウンセリングも毎月無料で行っています。

★目標や将来の夢は?  
個人目標は、新生会の仕事(医療、調理を除く)を全てこなせること、もっと大きなことを言えば、見知らぬ人に「岩手の福祉」「ああ、新生会ね」と言えたいことです。また、新しい仲間が増えること、できることから取り組んでいきたいと思っています。あと、辛いのが大好きなので、タバスコの585味の辛さを話題の「ワルトレスソース」に挑戦したいです!(写真で手に持っているのはワルトレスソース:タバスコの50倍)

★就職をお考えの方へ伝えたいことをどうぞ!  
福祉は、仕事を通して直接的な社会貢献ができる仕事です。正確な話、楽なことばかりではありませんが、普通の仕事では得ることのできないものがあります。まずは、見学やボランティアから始めてみてはどうでしょうか? 無難な方への入職をお待ちしております!

職員の普段の業務や、働く上で大切にしていること、やりがいや魅力などを率直に話していただきました!

就職をお考えの方には、職員からアドバイスが!

他にも様々な情報が盛りだくさん!!

## ある一日のスケジュール



# 第二新生園が 30周年を迎えました

創設三十周年を迎えて



施設長  
鈴木 長幸

障害者支援施設第二新生園が「平成」年代とほぼ重なる三十年の節目を迎えることができました。

社会福祉法人新生会で二番目の入所施設として昭和六十三年

四月開設以降、通所部の開設、短期入所事業の実施、障害者自立支援法及び障害者総合支援法への移行を経て、入所支援、生活介護、就労継続支援B型の福祉サービスを提供する多機能型障害者支援施設へと至っております。

現在は県内八市四町、県外一市より八三名の皆様にご利用いただいておりますが、その支援内容は大きく様変わりしております。年を重ねた利用者や多様な障がいの利用者が多くなってきたことから、安全安心で快適な生活を提供するための支援を最優先とし、個々の持つ力に着目した日中活動の工夫工賃増に繋がる就労支援に職員が一丸となって取り組んでおります。また、年々さらなるサービスの質の向上が求められており、施設の老朽化への計画的対策や災害等に対応できる施設づくりも急務になっているところです。

園庭には檜の大木が年輪を刻んでいます。これまで第二新生園の運営に関わった先達の喜びと労苦をうかがい知るとともに

多くの方々からいただいたご支援に改めて感謝の念が湧いてきます。そして、これからも利用者・保護者様とともに時代の変化とニーズに対応しながら「輝く命」を具現化する歩みを続けていく決意を新たにしております。

今後とも第二新生園へのお力添えを切にお願い申し上げます。



理事長式辞



当日のメニュー



会場全体が盛り上がったフィナーレ



完成イメージ2



完成イメージ1

第二新生園では、通所利用者さんの日中活動の場所が手狭であることがサービスを提供する上で大きな課題となっていました。

そのため、生活介護棟整備計画を新生会第IV期（平成二十七（二十九年度）中期経営計画に盛り込み、実現に向けた諸手続きを進めていきました。そして第V期（平成三十年～三十二年）中期経営計画の継続事業へと当初予定していた時期から少しずれ込みましたが、いよいよ実現の運びとなりました。

工期が冬季に及ぶことから、工事する方々も大変ではないかと心配していますが、九月十九日の起工式以降、穏やかな天候の運にも恵まれ、順調に工事が進んでいます。完成は三月末を見込んでおり、新年度からは通所の生活介護利用者さんの活動の場となります。

また、このことにより空いた現在のスペースについては、就労継続支援B型の作業室等に充てることにしています。今まで作業室が分散していたり、休憩場所が別棟だったりと、頻繁に

### 生活介護棟増築工事着工 ～完成は31年3月末～



工事状況 12/25

移動が必要でしたが、それが集約されることで作業の効率が高まることも期待できます。人に例えると、三十歳はまだまだ若い時期ですが、当園の施設設備は老朽化が目立ち、歳を重ねる利用者さんの変化に追いつかないのが現状です。年々さらなるサービスの質の向上が求められおり、施設設備の改修や災害等に対応できる施設づくりも急務です。今後は既存棟の中長期的な整備計画を検討することとしています。



工事状況 12/25

#### 【増築棟の概要】

- ◇ 構造・面積：鉄骨平屋建て 床面積 330 m<sup>2</sup> (接続廊下を除く)
- ◇ 主な部屋：多目的ホール 作業室2 職員室 相談室 個室
- ◇ 主な設備：男女多目的トイレ シャワー室 男女更衣室

## みちのく療育園祭を振りかえって



移動動物園にてウサギとふれあう

今年度は、当園創設以来のメイン行事であった「夏祭り」の代替として、初めて「みちのく療育園祭」を企画・実施に至りました。開催日も平日ではなく、ご協力して下さる方々や保護者様・関係者の皆様方にも多数ご参加して頂くために、あえて土曜日に設定しました。

そして、実行委員に選ばれた職員も初めての経験でしたが、何度も内容を検討し、参加されるすべての人たちが喜んでもらえる、そして記憶に残るような楽しい祭りを目指し、取り組んでく

れました。

その甲斐もあり、当日は多数のお客様がいらしてくださり、招待したご当地ヒーローの「タケルンジヤーション」やチャアリーダー「リップダンサーズ」様、男性保育士だけによるユニット「チームファントジスタ」様によるステージ発表は大盛況でした。

また、ステージ以外にも利用者様・ご家族様が楽しめるように「エアートランポリン」・「移動動物園」・「保護者会による出店」・「スヌーズレンコーナー」を設置し、テーマである「見て・聞いて・触って」みちのくフェスティバル」に沿った体験・経験ができたのではないかと思っております。

今後もお祭りが継続し行われ、いずれは当園のメイン行事としてなれるようそして、参加されるすべての人々が喜びと笑顔がふれ、感動できるそんな行事にしていけたらと思っております。今回、参加された方々にはこの場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

療育部長 中村純一

## みちのく療育園増床・増築計画について

平成三十年度、当施設は医療法による増床の計画を進め、このほど岩手県はじめ関係機関への手続きが終了しましたので、来年度には定員六十床の施設として運用を開始する予定です。

みちのく療育園は岩手県内唯一の重症心身障害児施設（定員五十四床・長期入院五十名、短期入所利用四名の病院）として開設以来常時満床に経過して十七年経過しましたが、この間に退所（退院）された利用者は十二名でした。また、現在の長期入所利用者の平均年齢は三十六歳となり、児童福祉法によるところの医療型障害児入所施設としての役割に見直しが迫られています。

当園に入所を希望して待機している重症心身障害児（者）は二十八名に達していますし、岩手県内、特に盛岡広域圏では百名以上の施設入所希望者がおられますので、入所利用を予定している皆様の要望に応えたいと思

います。

これらのことから、六十床に

増床し、居住棟を増築することにより、重症心身障害児（者）とご家族のためにより良い医療と福祉サービスを実現できるようにして行きます。生活・介護を支援する職員の充足が大きな課題でありますので、関係する皆様方の一層のご支援をお願い致します。



増築予定場所